

研究指導計画

フロンティア医科学学位プログラム（修士課程）

1_入学から課程修了までのスケジュール

フロンティア医科学学位プログラムは、修士課程の学位プログラムです。本学位プログラムにおける入学から課程修了まで（修業期間：2年）のスケジュールの概要を下図（4月入学の場合）に示します。

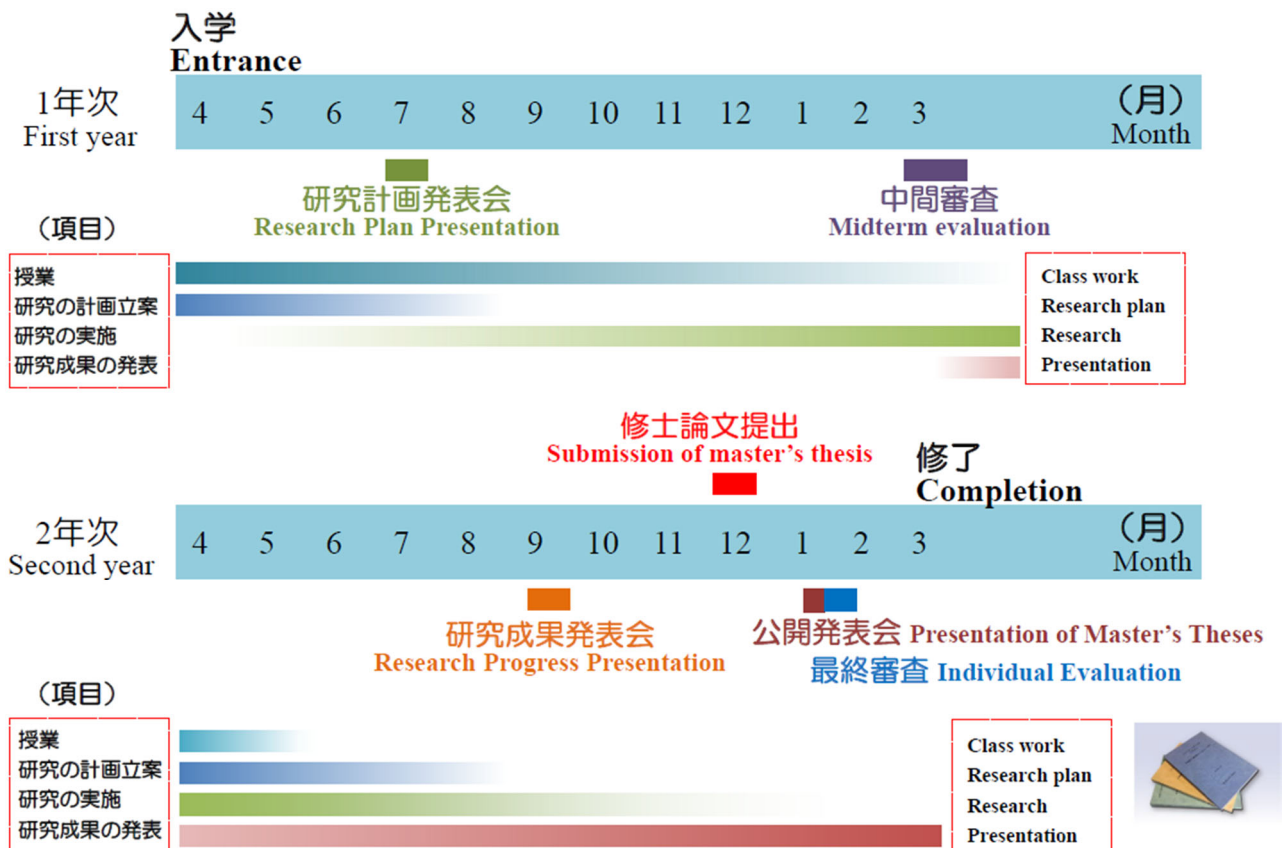


図 入学から課程修了までのスケジュール

- 図は入学から課程を修了までの2年間のスケジュールの概要です。上段が1年次、下段が2年次です。時期ごとの取り組む項目として、授業（講義、実習、演習）、研究関連に関しては、研究の計画立案、研究の実施、研究成果の発表をあげています。各項目に色つきの横棒を付しています。グラデーションで濃い色となっているところは、その項目に対して取り組むべきウエイトが高いということを示しています。1年の最初のうちは授業が大きなウエイトをしめていますが、だんだん薄い色になっています。研究に関しては、1年生の最初のうちは立案、7月には研究計画発表会があります。その頃から実際の研究がだんだんと進んでいき、約1年後には中間審査があって、2年の9月には研究成果発表会、12月には修士論文の提出、そして1月には公開発表会と最終審査があるという流れになります。

- 課程を修了するには、本学位プログラムが定める修了の要件として必要な授業科目の履修により 30 単位以上の修得が必要です。必修科目は医科学特別演習（8 単位）とインターンシップ I（1 単位）となっています。
- 「医科学特別演習」には、研究活動に必須となる研究倫理に関する科目の単位取得と情報倫理に関する講習の受講が求めており、履修要件としています（下記①と②）。入学後可能な限り早いタイミングで履修・受講してください。
 - ① 大学院共通科目「0A00103 研究倫理」または「0ATGC46 Scientific Ethics」の単位取得
 - ② INFOSS の受講

2_研究指導

- 入学後可能な限り早い段階で、研究テーマと進め方について研究指導教員と相談し、指示にしてください。臨床研究、動物実験、組換え DNA 実験などについては、事前に研究計画書を提出して許可を受けていなければなりません。研究指導教員に相談し、必要な許可を確認してください。
- 修士論文に関わる研究活動は、研究指導教員を中心とした研究グループ（研究室）のもとで行います。標準的には、毎週のセミナー、プログレスミーティングなどで研究指導を受けて議論を重ねつつ、修士論文研究を進めます。もし、テーマ等で研究指導教員の変更を希望する場合は、学位プログラムリーダーまたは教務委員長に相談してください。
- 一定期間（最大 1 年間）、他機関において研究できる制度（特別研究派遣）もあります。研究指導教員と相談しつつ進めてください。
- 本学位プログラムでは、指導教員だけでなく、下記①～⑤により、修士論文研究に関する評価や指導を受けます（①・③・④：公開、内容・プレゼン能力・質疑応答に関して教務委員 2 名により評価／③・⑤：非公開、主査 1 名と副査 2 名以上による審査）。
 - ① 研究計画発表会：1 年次の 7 月に実施します。研究指導教員との相談のうえ決めた研究テーマと進め方について発表し、研究計画内容の充実度と妥当性を中心にディスカッションします。
 - ② 中間審査：詳細は「3_中間審査」を参照してください。
 - ③ 研究成果発表会：2 年次の 9 月に実施します。これまでの研究成果について発表をします。ディスカッションを通じて、自身の研究について気づかなかった点（不足している点、アピールすべき点など）を見つけ出し、修士論文を執筆するうえでの参考にします。
 - ④ 公開発表会：2 年次の 1 月に実施します。12 月に提出した修士論文をベースに、自身の研究をわかりやすく発表します。ディスカッションは、最終審査を受けるうえでの参考にしてください。
 - ⑤ 最終審査：詳細は「4_最終審査」を参照してください。

3_中間審査

- 課程修了の要件の1つとして、中間審査を受ける必要があります。
- 審査は1年次の3月に実施します。
- 残りの修業期間内に、修論を提出して最終審査に合格できる見込みがあるか否かの評価を受けます。
- 審査は主査1名と副査2名以上で行い、審査員の中に研究指導教員は含みません。
- 判定は「合格、要指導」のいずれかとなります。要指導の場合は、研究指導教員の指導・助言を受け、主査・副査に相談し、再審査を受けてください。9月末までに合格しなければ最終審査に進めません。
- 判定（合格）基準は下記の通りです。
 - 以下の①～④の観点より、2年次の12月中旬までに修士論文として十分な内容をもつ研究成果が得られる判断される場合。
 - ① 研究の背景が十分理解できている。
 - ② 研究の目的が明確である。
 - ③ 目的を達成するための研究計画が妥当である。
 - ④ 予備的実験がなされているなど、研究が進捗していると評価でき、期限（2年次の12月中旬）までに修士論文を提出できると見込める。

4_最終審査

- 審査は2年次の1月に実施します。
- 審査体制は下記の通りです。下記に記載はありませんが、審査員の中に研究指導教員は含みません。

修士論文の審査等を実施するために設置する学位論文審査委員会は、主査1名と2名以上の副査で構成する。

- ① 主査は本プログラムにおける研究指導担当教員とする。
- ② 主査と副査は修士以上の学位を有する者とする。ただし、副査については修士以上の学位を有していない者を例外的に1名まで認めることができる。
- ③ 副査は人間総合科学学術院の構成員2名以上を含むものとし、必要がある場合は、本学位プログラム教育会議が認めた人間総合科学学術院外の適任者を加えることができる。
- ④ 学術院外の適任者の数は、人間総合科学学術院選出の主査及び副査の数を上回らないものとする。

- 主査は、学位論文審査委員会ならびに最終試験を開催し、申請者に論文概要の説明を求め、それに対する論文審査委員による質疑応答と口答試問による最終試験を実施します。学位論文審査委員会は、論文審査ならびに最終試験の結果について、審査員全員の合意に基づいて学位論文審査報告書を作成します。

□ 評価項目

修士論文の審査は、以下の項目について評価する。

- ① 研究成果が質的にも量的にも修士論文として相応しいこと。
- ② 研究の背景が述べられていること。
- ③ 研究の目的が明確であること。
- ④ 研究の方法が目的に沿っていること。
- ⑤ 研究の結果が適切に述べられていること。
- ⑥ 研究の結果に基づく考察が適切になされていること。
- ⑦ 図表が適切に作成されていること。
- ⑧ 参考文献、略語等の表記が適切であること。
- ⑨ 論文内容を十分に理解していること。
- ⑩ 質疑応答に的確に対応できること。
- ⑪ 関連分野の研究を理解していること。
- ⑫ 研究データの改ざん・捏造や剽窃などの研究不正がないこと。

□ 評価（合格）基準

筑波大学大学院学則に規定された要件を充足した上で、学位論文が上記の評価項目について妥当と認められ、かつ、最終試験で合格と判定されること。

5_修士論文作成に関するスケジュール

- 次頁の表は2022年4月入学（2023年度終了：2024年3月修了）者の修士論文作成に関するスケジュールです。大きな変更はありませんが、事務手続き等の都合によりマイナー変更の可能性があります。最新のスケジュールについては、メール等で周知するのでそちらを参照するようにしてください。

- 学位申請に必要な提出書類は下記①～⑦の通りです。

- ① 学位論文審査願 1部
- ② 論文概要 2部
- ③ 論文目録 2部
- ④ 履歴書（word形式、Excel形式） 各2部
- ⑤ 論文公正に関する確認書 2部
- ⑥ 剽窃チェック実施確認書 1部
- ⑦ 修士論文ファイル 3部

表 修士論文作成に関するスケジュール（2024年3月修了予定者用）

*提出書類：すべてフロンティア医科学学位プログラム事務局 *所定の書式・ファイル：フロンティア医科学学位プログラム事務局から配付

日 程	事 項	備 考
2022年11月	研究計画書 提出	各学生は、担当教員、指導教員の校閲を受け提出すること。（所定の研究計画書を使用）
2022年12月	主査・副査の決定	
2023年3月	中間審査（論文審査委員会）	主査・副査による中間審査。 研究成果のプレゼンテーションと質疑応答。 中間審査報告書提出〆切（主査）：4月7日 評価が「要指導」の場合は、9月末までに再審査を行う。
2023年4月6日	2年次生ガイダンス	
2023年8月31日	研究要旨 提出	所定の書式を用いる（A4,1頁）。必ず、担当教員・指導教員の校閲を受け提出すること。
2023年9月30日まで	論文中間審査の再審査	（注）12月の学位プログラム運営委員会までに中間審査に合格すれば「論文審査の願出」ができる。
2023年9月20日～9月21日	研究成果発表会 （発表10分、討論3分（予定））	研究成果のプレゼンテーションと質疑応答。主査・副査、座長、聴衆等から意見をもらい、論文提出までの研究活動に活かす。原則、在学生全員参加（2年生だけでなく、1年生も参加）！
2023年11月下旬	修士論文の校正を指導教員に依頼	
2023年11月下旬～12月中旬	学位論文の校正 剽窃チェックを受ける	各学生は、担当教員および指導教員の校閲を受けること。 指導教員によりiThenticateによる剽窃（ひょうせつ）チェックを受けること。
2023年12月15日 9時～16時 ※時間厳守	学位論文・論文審査願の提出 学位論文（正1部、副2部） 履歴書 論文目録 論文概要 剽窃チェック実施確認書	指導教員の承認印を必要とする。 論文はA4版、配布するファイルとする。（正はオリジナル、副はコピー） e-mailによる論文概要（Word形式ファイル）の提出。 12月15日以降は修士論文のタイトル変更（修正）は不可。タイトルの誤字・脱字等に十分注意して提出すること。 提出期限を少しでも過ぎた場合、理由の如何を問わず修士論文を受理できないので注意すること。
2024年1月9日	フロンティア医科学学位プログラム運営委員会 （研究群会議への主査、副査の指名）	特別な場合（教員の転出等）を除き、中間審査を行った主査・副査が指名される。
2024年1月10日～1月11日	公開発表会 （発表10分、討論5分（予定））	原則、在学生全員参加（2年生だけでなく、1年生も参加）！
2024年1月15日～1月29日	最終審査（論文審査委員会）	主査・副査による最終審査（最終的な合否の判定）。
2024年2月2日 9時～16時 ※時間厳守	修正論文最終提出	直ちに一括製本に出す
2024年2月16日	人間総合科学学術院・研究群運営委員会	修得単位数と論文審査結果の報告および審議、課程修了予定者の認定
2024年3月25日	学位記授与式	

（注意）

- 発表会等で行うプレゼンは、事前（2週間前が目安）に指導教員のチェックを必ず受けること。
- 修士論文を提出に関して、初稿を指導教員に提出し（〆切の1ヶ月前が目安）、論文指導・校閲等を受けておく必要がある。指導教員の校閲を受けてない論文は不合格になることがある。
- 12月15日以降は修士論文のタイトル変更（修正）は不可。タイトルの誤字・脱字等に十分注意して提出すること。
- 提出期限を少しでも過ぎた場合、理由の如何を問わず修士論文を受理できないので注意すること。